

Climate宣言

EPD登録番号：JR-CG-24003E

SuMPO環境ラベルプログラム

一般社団法人サステナブル経営推進機構

東京都千代田区内神田1-14-8 KANDA SQUARE GATE

<https://ecoleaf-label.jp>

※Climate宣言は温室効果ガスの排出量をCO2換算値で示したものであり、EPDではありません。EPDは<https://ecoleaf-label.jp>を確認してください。

井村屋株式会社
Imuraya Co., Ltd.

BOXあずきバー 抹茶
BOX AZUKI BAR MATCHA

宣言単位・機能単位

製品 1箱あたり (460 g /箱)

システム境界

■最終財 □中間財

- ①原材料調達段階、②生産段階、③流通段階
④使用・維持管理段階、⑤廃棄・リサイクル段階

製品の型式、主要仕様・諸元

種類別：氷菓

内容量：60ml × 6本

原材料に含まれるアレルギー物質（特定原材料等）

：乳成分

保管：要冷凍（-18℃以下で保管）



PCR情報

PCR名 加工食品および飲料製品

PCRレビューパネル

認定日等 2024年 7月 8日

パネル委員長 中野 勝行

(所属 立命館大学)

EPD検証情報

登録番号 JR-CG-24003E

適用PCR番号 PA-700000-CG-01

公開日 加工食品および飲料製品

検証合格日 2024年8月14日

検証方式 個品別検証方式

検証番号 JV-CG-24003

検証有効期間 2029年8月13日

検証 内部 外部

検証員 小関 康雄

GWP (カーボンフットプリント)

ライフサイクル段階	内訳	単位	割合
①原材料調達	4.5.E+02 g-CO2eq		49%
②生産	1.5.E+02 g-CO2eq		17%
③流通	2.6.E+02 g-CO2eq		28%
④使用・維持管理	3.8.E+01 g-CO2eq		4%
⑤廃棄・リサイクル	2.0.E+01 g-CO2eq		2%
合計	9.2.E+02 g-CO2eq		

算定に関する追加情報

- 一次データの取集期間：2023年1月～2023年12月（1年間）
- 原材料の使用量については製品規格量及びロス量並びに廃棄物量より算定、原材料の栽培や加工等の原単位については二次データとしてIDEA ver.3.1.0を用い算定
- 生産段階で使用する蒸気の一部を木質系のバイオマスを使用
- サイト間輸送については電動フォークリフトのカatalog値をもとに消費電力を算定
- 流通段階での製品保管の算定方法
 - 保管に必要な消費電力については、（一社）日本冷蔵倉庫協会の2020年度の実績値より算定
 - （一社）日本冷凍空調工業会の冷凍空調機器の国内需要統計より、内蔵ショーケース（オープン型、クローズド型）、別置ショーケースの比率を決定
 - 代表的なショーケースを選定し1L当たりの消費電力をショーケースの使用率70%として算定
 - 家庭での保管については、PA-700000-CG-01（加工食品および飲料製品）10-4（シナリオ）の①消費者における保管プロセスより保管期間は1ヶ月

Climate宣言について

この宣言は、ISO14025に準拠したEPDを作成するために実施されたLCAの算定結果に基づき、地球温暖化影響（カーボンフットプリント）のみを切り出して開示した宣言です。カーボンフットプリント以外の指標が、地球温暖化への影響と同等又はそれ以上の重要性を持つ可能性があり、本宣言の解釈及びコミュニケーションには細心の注意が必要です。この数値は、検証済みデータの一部を切り出したもので、宣言そのものはSuMPO環境ラベルプログラムで検証を受けたものではありません。ISO14025に準拠したEPDは右のQRから確認してください。

EPDリンク



EPDリンク

<https://ecoleaf-label.jp/epd/1711>

問い合わせ先

井村屋グループ株式会社 経営戦略室 TEL.050-1791-2014